

# ニッポンコムジェスト・エマージング マーケッツ・ファンドSA（適格機関投資家限定）

ありがとう投信  
Arigato Asset Management Inc

※弊社が組入れているファンドの中で、マーケットコメント等の提供があるものについて、直近の内容を掲載しております。

運用：日本コムジェスト株式会社 <http://www.comgest.co.jp/>

基準日：2010年6月30日

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.6%
2	JBS SA	ブラジル	生活必需品	4.3%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	3.9%
4	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	3.4%
5	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	3.4%

※ 比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## <運用概況>

株式市場の参加者の見方が極端に近視眼的となったことが激しい市場の振れにつながったようです。もしも先進諸国が財政不均衡の問題や弱体化した銀行システムの解決策を、暫定的にでも示すことができなければ、このような状況が今後も続くことになるでしょう。

エマージング株式市場には、中国経済の成長に対する懸念が重くのしかかっています。ハイテクのセクターや循環的な消費セクターの銘柄、特にNaspers、EspritとGrupo Televisaは、6月の運用成績に対してマイナスに寄与しました。それに対して循環性の少ない事業モデルの会社、すなわちNatura、Cipla、JBS、ITC、Walmart de Mexicoは運用成績に貢献しました。

MTNはアルジェリア政府が同国の携帯電話事業の主力であるOrascom Telecom社の売却を拒否したため、Orascom Telecom社との交渉を打ち切りました。一方で事業活動による成長は極めて順調で、アフリカ大陸におけるオーガニックな成長と拡大の見通しが明るいと確信しています。

Bungeは再び強い成長が始まる寸前まで来ています。Bungeは植物油の精製と販売のリーダーであり、今年の実績における大豊作の恩恵を受けることが見込まれています。長期的にはBungeの成長は、新興国経済において増大する農産物製品の需要によって勢いが増すと考えます。

ファンドは株価が値下がりした機会をとらえて、Avon Products（米国および新興国における化粧品）の訪問販売事業）を買い増しました。

以上